

2018年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況	P.3
4. 第2四半期 業績と予想（連結）	P.4
5. 主要製品の状況	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.6
7. 開発品一覧	P.7～9
【参考資料】	
8. セグメント情報	P.11
9. 損益計算書の概要（連結）	P.12～13
10. 貸借対照表の概要（連結）	P.14
11. 主な業績項目の推移（連結）	P.15
12. 杏林製薬資料	P.16～19

2017年11月6日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2018年3月期 第2四半期 決算概観（連結）

（単位：百万円）

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	前年比	18年3月期 (修正予想)	前年比	18年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	51,112	52,386	54,628	50,758	-7.1%	111,300	-3.5%	113,400	-1.7%
営業利益	4,587	4,099	3,663	1,443	-60.6%	10,500	+0.8%	12,100	+16.2%
経常利益	4,898	4,266	3,921	1,693	-56.8%	10,900	+0.2%	12,600	+15.9%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	3,495	2,967	2,684	1,240	-53.8%	7,800	+6.8%	9,700	+32.8%

18年3月期 第2四半期 連結業績（実績）

【売上高】 主力製品「フルティフォーム」、新製品「デザレックス」は順調に伸長したものの、「キプレス」の特許満了を主因として新医薬品（国内）は減収となりました。他方、後発医薬品はモンテルカスト（キプレス）のオーソライズド・ジェネリックの販売拡大により増収となりましたが、全体の売上高は507億58百万円（前年比7.1%減）と減収となりました。

【利益】 新医薬品（国内）の売り上げ減少及び、棚卸資産の除却損等の増加により売上総利益は前年同期に対して31億67百万円減少しました。他方、販売費及び一般管理費はコスト削減に取り組み、前年同期に対して9億48百万円減少（内、研究開発費1億48百万円減）しましたが、営業利益は14億43百万円（前年同期比60.6%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、株式譲渡益 約6億円を特別利益に計上し、導出品に関する集団訴訟の和解関連費用 約4億円を特別損失に計上したことから12億40百万円（前年同期比53.8%減）となりました。

18年3月期 連結業績（予想）

2017年5月11日付け「平成29年3月期 決算短信」にて公表しました2018年3月期の連結業績予想を以下の通り修正しました。

【売上高】 新医薬品（国内）の主力製品（キプレス他）及び、後発医薬品（主に他社向け）の売上が当初予想を下回る見通しとなったことから、下方修正いたしました。

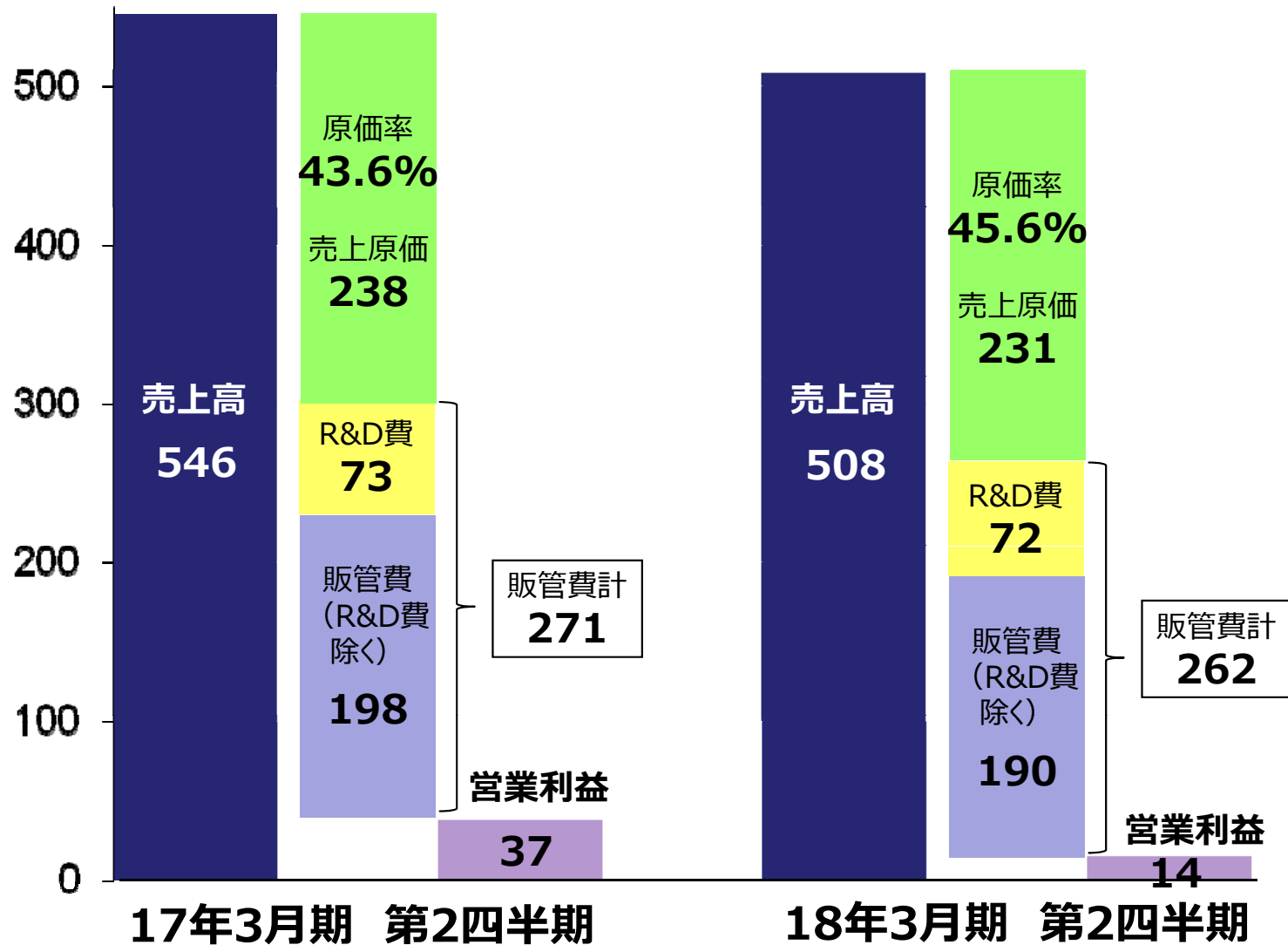
【利益】 当初予想よりも、売上が減少し、棚卸資産の除却損等が増加する見通しとなったことから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたしました。なお、当初予想に織り込んでいなかった特別損失 約4億円を第2四半期に計上しております。

【配当】 2017年5月11日に公表しました配当予想（年間58円/株）の変更はございません。

（18年3月期 連結業績（修正予想）に対する進捗度 売上高：45.6% 営業利益：13.7%）

2018年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位：億円)



【ポイント】

- ▶ 売上高は前年比38億円減少
 - ・国内新医薬品の売上減少
 - ・後発医薬品の売上増加
- ▶ 売上原価率は2.0%上昇
 - ・棚卸資産の除却損等の増加
- 売上総利益は前年比32億円減少

- ▶ 販管費は前年比9億円減少
 - ・R&D費は横ばいで推移（1億円減少）
 - ・販管費（R&D費除く）は8億円減少
- 営業利益は前年比23億円減少

2018年3月期 第2四半期 業績の状況

(単位：億円)

	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	対前年
売上高	546	508	-38
医療用医薬品事業	519	480	-39
◆新医薬品	416	350	-66
○国内	413	344	-69
○海外	3	5	+2
◆後発医薬品	103	130	+27
ヘルスケア事業	27	28	+1

営業利益	37	14	-23
経常利益	39	17	-22
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	12	-15

■売上高	508億円	(-38)	(-38)
◆医療用医薬品事業	480億円	(-39)	(-39)
●国内新医薬品	344億円	(-69)	(-13)
	17.3 (2Q)	18.3 (2Q)	
・フルティフォーム	45	⇒ 54	(+9) (0)
・ウリトス	38	⇒ 36	(-2) (-2)
・デザレックス	-	⇒ 9	(+9) (0)
・キプレス	178	⇒ 90	(-88) (-12)
・ペンタサ	79	⇒ 80	(+1) (+1)
・ムコダイン	44	⇒ 39	(-5) (+2)
●海外新医薬品	5億円	(+2)	(-21)
●後発医薬品	130億円	(+27)	(-5)
	モンテルカストAGが拡大、他社向け売上が減少		
◆ヘルスケア事業	28億円	(+1)	(+1)
■営業利益	14億円	(-23)	(-39)
◆営業利益率は2.8%と前年比3.9ポイント低下			
●原価率：前年比2.0ポイント上昇 (43.6%⇒45.6%)			
	* 国内新医薬品の売上減少、後発医薬品の売上増加、棚卸資産の除却損等の増加		
●研究開発費率：前年比0.7ポイント上昇 (13.4%⇒14.1%)			
	* 横ばいで推移 (73億円⇒72億円)		
●販管費率 (除くR&D費)：前年比1.1ポイント上昇 (36.3%⇒37.4%)			
	* 8億円減少 (198億円⇒190億円) 主に人件費、一般経費の減少		
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	12億円	(-15)	(-33)

* 特別利益：ドクタープログラム(株)の株式譲渡に伴う利益 約6億円
* 特別損失：ガチフロキサシン点眼液に関する集団訴訟の和解関連費用 約4億円

2018年3月期 第2四半期 業績と予想 (連結)

(単位：百万円)

	17年3月期 第2四半期 (実績)	18年3月期 第2四半期 (実績)	前年差額	前年比 (%)
売上高	54,628	50,758	-3,870	-7.1
医療用医薬品事業	51,936	47,977	-3,959	-7.6
◆新医薬品	41,615	34,972	-6,643	-16.0
○国内	41,272	34,449	-6,823	-16.5
○海外	343	523	+180	+52.5
◆後発医薬品	10,321	13,005	+2,684	+26.0
ヘルスケア事業	2,691	2,781	+90	+3.3
営業利益	3,663	1,443	-2,220	-60.6
経常利益	3,921	1,693	-2,228	-56.8
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,684	1,240	-1,444	-53.8

	17年3月期 (実績)	18年3月期 (修正予想)
売上高	115,373	111,300
医療用医薬品事業	109,566	105,300
◆新医薬品	84,542	77,200
○国内	83,777	74,200
○海外	764	3,000
◆後発医薬品	25,024	28,000
ヘルスケア事業	5,807	5,900
営業利益	10,413	10,500
経常利益	10,874	10,900
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,305	7,800

18年3月期 (当初予想)	当初予想と 修正予想の 差額
113,400	-2,100
107,400	-2,100
78,900	-1,700
75,500	-1,300
3,300	-300
28,500	-500
5,900	0
12,100	-1,600
12,600	-1,700
9,700	-1,900

2018年3月期 第2四半期 主要製品の状況

(単位：億円)

		16年3月期 第2四半期 (実績)	17年3月期 第2四半期 (実績)	18年3月期 第2四半期 (実績)	前年 差額	前年比 (%)	17年3月期 (実績)	18年3月期 (修正予想)	18年3月期 (当初予想)	当初予想と 修正予想 の差額
国内 新医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	30	45	54	+9	+19.6	101	120	120	—
	ウリトス (自社販売) (過活動膀胱治療剤)	37	38	36	-2	-4.3	75	73	76	-3
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	—	—	9	+9	—	10	35	35	—
	キプレス (成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	124	115	39	-76	-66.2	177	91	98	-7
	キプレス (小児製剤) (気管支喘息)	64	63	51	-12	-18.8	149	107	111	-4
	パンタサ (潰瘍性大腸炎・がん病治療剤)	81	79	80	+1	+1.2	155	156	156	0
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	59	44	39	-5	-10.9	99	84	83	+1
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	—	18	50	+32	+177.8	82	107	103	+4
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	11	11	0	+3.5	22	22	21	+1

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

(単位：百万円)

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	増減比
研究開発費	6,674	7,270	7,327	7,179	-2.0%
設備投資	1,557	5,637	1,383	1,989	+43.8%
減価償却費	1,462	1,658	1,751	1,710	-2.3%

	17年3月期	18年3月期 (修正予想)	18年3月期 (当初予想)
	13,569	13,000	12,600
	3,051	4,300	4,300
	3,619	4,000	4,000

※設備投資と減価償却費は
予想を修正していません

設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)

	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期
工場設備	5	5
管理・販売設備	0	1
研究用設備	9	13

	17年3月期	18年3月期 (予想)
	16	20
	1	6
	13	17

開発品一覧① (2017年11月6日現在)

PhⅢ ~承認

※前回 (2018年3月期 第1四半期 7月31日発表) からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※申請 (17年9月)	【米国、欧州、他】 米国Mk社 : PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 Mk社	<ul style="list-style-type: none"> 従来の過活動膀胱治療薬と比較して、副作用が少なく、服薬コンプライアンスが高まることが期待される β3作動薬として、薬物相互作用が少ない 本剤が分類されるβ3作動薬は、過活動膀胱治療におけるファーストラインとなる可能性がある 	米国Mk社とライセンス契約 (14年7月) キッセイ薬品工業(株)と共同開発・共同販売に関する契約を締結(16年3月) 米国Mk社とアジア地域におけるライセンス契約 (17年4月)
申請 (17年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認 (市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	KRP-AM1977Xについては、追加の非臨床試験が必要となり実施いたします。
PhⅢ (16年3月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社		
PhⅢ (17年3月)		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
PhⅢ (17年6月)		KRP-108P	気管支喘息	英国 バクテラ社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

開発品一覧② (2017年11月6日現在)

POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

※前回 (2018年3月期 第1四半期 7月31日発表) からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬 効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph I / II (15年7月)	【米国】桃太郎源(株) : Ph I / II 前立腺がん(14年5月)	Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子 REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択 的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導するこ とが期待される	産学共同実用化開発事 業[NexTEP]への採択 (14年6月)

※KRP-209は、Ph II 臨床試験が終了し、成績を評価した結果、期待していた有効性が見出せなかったことから、開発中止を決定いたしました

開発品一覧③ (2017年11月6日現在)

導出品の状況

開発段階/海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	KRP-203	スイス ハルティス	移植片対宿主病 (GvHD)	自社	S1P受容体アゴニスト。免疫調節剤	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) GvHDでの開発集中を決定 (15年11月公表)
前臨床	-	米国 ブリストル・マイヤーズ スクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	BMS社とライセンス契約 (15年12月)

参考資料

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	508	-38	14	-23
医療用医薬品事業計	480	-39	12	-24
◆新医薬品	350	-66		
○国内	344	-69		
○海外	5	+2		
◆後発医薬品	130	+27		
ヘルスケア事業計	28	+1	1	+1
調整額	-	-	1	0

損益計算書の概要（連結）－①

(単位：百万円)

<当期のポイント：対前年>

	17年3月期 第2四半期		18年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	前年差額
売上高	54,628	100.0%	50,758	100.0%	-7.1%	-3,870
医療用医薬品事業	51,936	95.1%	47,977	94.5%	-7.6%	-3,959
◆新医薬品	41,615	76.2%	34,972	68.9%	-16.0%	-6,643
○国内	41,272	75.6%	34,449	67.9%	-16.5%	-6,823
○海外	343	0.6%	523	1.0%	+52.5%	+180
◆後発医薬品	10,321	18.9%	13,005	25.6%	+26.0%	+2,684
ヘルスケア事業	2,691	4.9%	2,781	5.5%	+3.3%	+90

	対前年		
■売上高	50,758百万円 (-3,870百万円)		
●国内新医薬品	34,449百万円 (-6,823百万円)		
	17.3(2Q)	18.3(2Q)	(億円)
・フルティフォーム	45	⇒ 54	(+9)
・ウリス	38	⇒ 36	(-2)
・デザレックス	-	⇒ 9	(+9)
・キプレス	178	⇒ 90	(-88)
・ペンタサ	79	⇒ 80	(+1)
・ムコダイン	44	⇒ 39	(-5)
●海外新医薬品	523百万円 (+180百万円)		
・ガチフロキサシン	2	⇒ 3	(+1)
●後発医薬品	13,005百万円 (+2,684百万円)		
	*モンテルカストAGが拡大、他社向け売上が減少		
●ヘルスケア事業	2,781百万円 (+90百万円)		

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社7社： 杏林製薬(株)
Kyorin USA, Inc.
Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン メディカルサプライ(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要（連結）－②

(単位：百万円)

	17年3月期 第2四半期		18年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	前年差額
売上高	54,628	100.0%	50,758	100.0%	-7.1%	-3,870
売上原価	23,830	43.6%	23,128	45.6%	-2.9%	-702
売上総利益	30,797	56.4%	27,630	54.4%	-10.3%	-3,167
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	27,134 (7,327)	49.7% (13.4%)	26,186 (7,179)	51.6% (14.1%)	-3.5% (-2.0%)	-948 (-148)
営業利益	3,663	6.7%	1,443	2.8%	-60.6%	-2,220
営業外収益	276	0.5%	325	0.6%	+17.8%	+49
営業外費用	17	0.0%	75	0.1%	+341.2%	+58
経常利益	3,921	7.2%	1,693	3.3%	-56.8%	-2,228
特別利益	0	0.0%	627	1.2%	-	+627
特別損失	88	0.2%	420	0.8%	+377.3%	+332
税金等調整前 四半期純利益	3,833	7.0%	1,900	3.7%	-50.4%	-1,933
法人税・住民税 及び事業税	679	1.2%	487	1.0%	-28.3%	-192
法人税等調整額	468	0.9%	172	0.3%	-63.2%	-296
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,684	4.9%	1,240	2.4%	-53.8%	-1,444

<当期のポイント>

◆原価率：前年比2.0ポイント上昇
(43.6%→45.6%)

- ・国内新医薬品の売上減少
- ・後発医薬品の売上増加
- ・棚卸資産の除却損等の増加

◆研究開発費率：前年比0.7ポイント上昇
(13.4%→14.1%)

* 73億円→72億円（横ばいで推移）

◆販管費率(除くR&D費)：前年比1.1ポイント上昇
(36.3%→37.4%)

* 198億円→190億円（8億円減少）
主に人件費、一般経費の減少

■営業利益 **1,443百万円**（-2,220百万円）

* 営業利益率は2.8%と3.9ポイント低下

■親会社株主に帰属 **1,240百万円**（-1,444百万円）
する四半期純利益

* 特別利益：ドクタープログラム(株)の株式譲渡に伴う利益 約6億円
* 特別損失：ガチフロキサシン点眼液に関する集団訴訟の和解
関連費用 約4億円

■配当（中間） **20円00銭**

貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)

	17年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	126,267	65.5%
現金及び預金	43,619	—
受取手形及び売掛金	46,192	
有価証券	5,007	
棚卸資産	24,379	
その他流動資産	7,068	
固定資産	66,400	34.5%
有形固定資産	22,432	—
無形固定資産	1,204	
投資その他	42,763	
資産合計	192,668	100.0%

流動負債	25,033	13.0%
支払手形及び買掛金	11,157	—
その他流動負債	13,875	
固定負債	9,797	5.1%
負債合計	34,831	18.1%
株主資本	152,585	79.2%
その他の包括利益累計額	5,251	2.7%
その他有価証券評価差額金	7,645	—
為替換算調整勘定	115	
退職給付に係る調整累計額	-2,510	
純資産合計	157,837	81.9%
負債及び純資産合計	192,668	100.0%

18年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
117,333	61.8%	-8,934
44,245	—	—
39,282		
2,300		
25,835		
5,670		
72,659	38.2%	+6,259
22,728	—	—
1,672		
48,258		
189,993	100.0%	-2,675

22,835	12.0%	-2,198
10,203	—	—
12,632		
9,656	5.1%	-141
32,492	17.1%	-2,339
151,308	79.6%	-1,277
6,192	3.3%	+941
8,318	—	—
68		
-2,194		
157,501	82.9%	-336
189,993	100.0%	-2,675

<当期のポイント>

■ 流動資産：8,934百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+626百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-6,910百万円)
- ・有価証券の減少 (-2,707百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+1,456百万円)
- ・その他流動資産の減少 (-1,398百万円)

■ 固定資産：6,259百万円増

- ・有形固定資産の増加 (+296百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+468百万円)
- ・投資その他の増加 (+5,495百万円)

■ 流動負債：2,198百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-954百万円)
- ・その他流動負債の減少 (-1,243百万円)

■ 固定負債：141百万円減

主な業績項目の推移（連結）

（単位：百万円）

	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	52,386 (594)	54,628 (343)	50,758 (523)
売上原価 (売上原価率) %	21,561 (41.2%)	23,830 (43.6%)	23,128 (45.6%)
販売費及び一般管理費 (販管费率) %	26,726 (51.0%)	27,134 (49.7%)	26,186 (51.6%)
うち研究開発費 (研究開発费率) %	7,270 (13.9%)	7,327 (13.4%)	7,179 (14.1%)
営業利益 (営業利益率) %	4,099 (7.8%)	3,663 (6.7%)	1,443 (2.8%)
経常利益 (経常利益率) %	4,266 (8.1%)	3,921 (7.2%)	1,693 (3.3%)
四半期（当期）純利益 (四半期（当期）純利益率) %	2,967 (5.7%)	2,684 (4.9%)	1,240 (2.4%)
一株当たり利益（円）	40.10円	36.56円	16.86円
資本金	700	700	700
総資産	187,729	188,285	189,993
純資産	151,646	153,719	157,501
一株当たり純資産（円）	2,047.91円	2,093.71円	2,138.99円
自己資本利益率 %	2.0%	1.7%	0.8%
自己資本比率 %	80.8%	81.6%	82.9%
人員（人）	2,448人	2,427人	2,378人
設備投資	5,637	1,383	1,989
減価償却費	1,658	1,751	1,710

17年3月期	18年3月期 (修正予想)	18年3月期 (当初予想)
115,373 (764)	111,300 (3,000)	113,400 (3,300)
50,847 (44.1%)	—	—
54,113 (46.9%)	—	—
13,569 (11.8%)	13,000 (11.7%)	12,600 (11.1%)
10,413 (9.0%)	10,500 (9.4%)	12,100 (10.7%)
10,874 (9.4%)	10,900 (9.8%)	12,600 (11.1%)
7,305 (6.3%)	7,800 (7.0%)	9,700 (8.6%)
99.45円	105.93円	131.94円
700	—	—
192,668	—	—
157,837	—	—
2,146.83円	—	—
4.6%	—	—
81.9%	—	—
2,382人	—	—
3,051	4,300	4,300
3,619	4,000	4,000

損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)

	17年3月期 第2四半期		18年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	47,396	100.0%	44,493	100.0%	-6.1%	-2,903
医療用医薬品事業	45,552	96.1%	42,008	94.4%	-7.8%	-3,544
◆新医薬品	40,414	85.3%	33,972	76.4%	-15.9%	-6,442
○国内	40,193	84.8%	33,538	75.4%	-16.6%	-6,655
○海外	221	0.5%	434	1.0%	+96.4%	+213
◆後発医薬品	5,138	10.8%	8,035	18.1%	+56.4%	+2,897
ヘルスケア事業	1,843	3.9%	2,485	5.6%	+34.8%	+642

<当期のポイント>

	対前年		
	17.3(2Q)	18.3(2Q)	(億円)
■売上高	44,493百万円 (-2,903百万円)		
●国内新医薬品	33,538百万円 (-6,655百万円)		
・フルティフォーム	45	⇒ 54	(+9)
・ウイトス	38	⇒ 36	(-2)
・デザレックス	-	⇒ 9	(+9)
・キプレス	178	⇒ 90	(-88)
・ペンタサ	79	⇒ 80	(+1)
・ムコダイン	44	⇒ 39	(-5)
●海外新医薬品	434百万円 (+213百万円)		
・ガチフロキサシン	2	⇒ 3	(+1)
●後発医薬品	8,035百万円 (+2,897百万円)		
・モンテルカストAGが拡大			
●ヘルスケア事業	2,485百万円 (+642百万円)		
・ミルトン	11	⇒ 11	(0)
・ルビスタ	4	⇒ 5	(+1)

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)

	17年3月期 第2四半期		18年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	47,396	100.0%	44,493	100.0%	-6.1%	-2,903
売上原価	20,472	43.2%	19,982	44.9%	-2.4%	-490
売上総利益	26,923	56.8%	24,511	55.1%	-9.0%	-2,412
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	25,010 (6,948)	52.8% (14.7%)	24,253 (6,691)	54.5% (15.0%)	-3.0% (-3.7%)	-757 (-257)
営業利益	1,912	4.0%	257	0.6%	-86.6%	-1,655
営業外収益	350	0.7%	446	1.0%	+27.4%	+96
営業外費用	4	0.0%	64	0.1%	+1,500.0%	+60
経常利益	2,259	4.8%	639	1.4%	-71.7%	-1,620
特別利益	-	-%	50	0.1%	-	+50
特別損失	86	0.2%	396	0.9%	+360.5%	+310
税引前四半期純利益	2,172	4.6%	294	0.7%	-86.5%	-1,878
法人税・住民税 及び事業税	248	0.5%	233	0.5%	-6.0%	-15
法人税等調整額	413	0.9%	-139	-0.3%	-	-552
四半期純利益	1,510	3.2%	200	0.4%	-86.8%	-1,310

<当期のポイント>

◆ **原価率：前年比 1.7ポイント上昇**
(43.2%→44.9%)

- ・国内新医薬品の売上減少
- ・後発医薬品の売上増加
- ・棚卸資産の除却損等の増加

◆ **研究開発費率：前年比 0.3ポイント上昇**
(14.7%→15.0%)

* 69億円→67億円 (2億円減少)

◆ **販管費率(除くR&D費)：前年比1.4ポイント上昇**
(38.1%→39.5%)

■ **営業利益 257百万円 (-1,655百万円)**

* 営業利益率は0.6%と3.4ポイント低下

■ **四半期純利益 200百万円 (-1,310百万円)**

* 特別損失：ガチフロキサシン点眼液に関する集団訴訟の和解関連費用 約4億円

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	17年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	89,628	60.0%
現金及び預金	18,943	
売掛金	41,269	
有価証券	5,007	—
棚卸資産	19,271	
その他流動資産	5,136	
固定資産	59,754	40.0%
有形固定資産	13,690	
無形固定資産	631	—
投資その他	45,432	
資産合計	149,382	100.0%

流動負債	17,876	12.0%
買掛金	8,546	
その他流動負債	9,329	—
固定負債	6,195	4.1%
負債合計	24,071	16.1%
株主資本	117,744	78.8%
評価・換算差額等	7,566	5.1%
純資産合計	125,310	83.9%
負債及び純資産合計	149,382	100.0%

18年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
81,828	55.6%	-7,800
19,630		
35,343		
2,300	—	—
20,470		
4,083		
65,295	44.4%	+5,541
13,236		
1,186	—	—
50,872		
147,124	100.0%	-2,258

17,333	11.8%	-543
7,812	—	—
9,520		
5,919	4.0%	-276
23,252	15.8%	-819
115,642	78.6%	-2,102
8,229	5.6%	+663
123,871	84.2%	-1,439
147,124	100.0%	-2,258

<当期のポイント>

■ 流動資産：7,800百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+687百万円)
- ・売掛金の減少 (-5,926百万円)
- ・有価証券の減少 (-2,707百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+1,199百万円)

■ 固定資産：5,541百万円増

- ・有形固定資産の減少 (-454百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+555百万円)
- ・投資その他の増加 (+5,440百万円)

■ 流動負債：543百万円減

- ・買掛金の減少 (-734百万円)

■ 固定負債：276百万円減

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)

	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	46,157 (504)	47,396 (221)	44,493 (434)
売上原価 (売上原価率) %	18,358 (39.8%)	20,472 (43.2%)	19,982 (44.9%)
販売費及び一般管理費 (販管费率) %	24,637 (53.4%)	25,010 (52.8%)	24,253 (54.5%)
うち研究開発費 (研究開発费率) %	6,903 (15.0%)	6,948 (14.7%)	6,691 (15.0%)
営業利益 (営業利益率) %	3,161 (6.8%)	1,912 (4.0%)	257 (0.6%)
経常利益 (経常利益率) %	3,468 (7.5%)	2,259 (4.8%)	639 (1.4%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率) %	2,481 (5.4%)	1,510 (3.2%)	200 (0.5%)
一株当たり利益(円)	33.41円	20.34円	2.69円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	146,458	148,281	147,124
純資産	120,555	123,764	123,871
一株当たり純資産(円)	1,623.24円	1,666.46円	1,667.90円
自己資本利益率 %	2.1%	1.2%	0.2%
自己資本比率 %	82.3%	83.5%	84.2%
人員(人)	1,762人	1,725人	1,707人
設備投資	4,435	547	460
減価償却費	961	1,038	915

17年3月期	18年3月期 (修正予想)	18年3月期 (当初予想)
100,022 (528)	97,200 (2,800)	98,400 (3,100)
43,503 (43.5%)	—	—
49,714 (49.7%)	—	—
12,785 (12.8%)	11,800 (12.1%)	11,300 (11.5%)
6,803 (6.8%)	7,300 (7.5%)	8,700 (8.8%)
7,396 (7.4%)	7,900 (8.1%)	9,200 (9.3%)
4,454 (4.5%)	6,800 (7.0%)	6,800 (6.9%)
59.98円	—	—
4,317	—	—
149,382	—	—
125,310	—	—
1,687.28円	—	—
3.5%	—	—
83.9%	—	—
1,687人	—	—
905	1,600	1,600
2,143	2,000	2,000